第１表　常住地又は従業地・通学地別人口（夜間人口・昼間人口）－全国，都道府県，市区町村（平成2年～令和2年）

西暦年	和暦年	総数（夜間人口）1）	従業も通学もしていな	自宅で従業	自宅外の自市区町村で	県内他市区町村で従業・通学	他県で従業・通学	総数（昼間人口）1）	県内他市町村に常駐	他県に常駐
1990	H2	78,420	23,379	10,206	26,405	13,190	5,099	80,442	16,444	3,867
1995	H7	81,662	25,933	8,441	26,421	14,679	6,111	82,175	17,281	4,022
2000	H12	82,580	28,048	7,518	24,481	15,324	6,055	83,652	18,457	3,994
2005	H17	81,933	28,427	6,532	23,191	15,948	6,076	82,911	18,422	4,580
2010	H22	81,889	27,798	5,231	23,466	12,894	6,243	82,525	15,022	4,751
2015	H27	77,881	27,731	4,525	21,446	11,941	6,620	80,065	15,127	5,618
2020	R2	78,569	25,317	4,331	21,302	11,944	6,805	79,878	14,361	5,697

1）労働力状態「不詳」を含む
不詳の項目を省略しているため、総数と内訳は一致していない。
H17までは旧本庄市、旧児玉町の合計を採用した。

